

III. 経営成績

当連結会計年度の概況

1. 損益

当連結会計年度の経常収益は、金融商品に係る会計基準の適用に伴い、ヘッジ会計の適用対象となるデリバティブ取引の収益及び費用について従来の総額表示から純額表示に変更したことによる減少等により、前連結会計年度比 19.8%減の1兆7,231億円となりました。

経常費用は、上記のデリバティブ取引に係る純額表示への変更等により、前連結会計年度比23.5%減の1兆5,393億円となりました。

その結果、経常利益は1,838億円(前連結会計年度比+34.7%)、特別損益等を勘案した当期純利益は489億円(同 21.8%)となりました。

2. 業容

預金は前連結会計年度末比1兆7,780億円増加して3兆2兆39億円となり、譲渡性預金は同1兆1,083億円増加して4兆6,210億円となりました。

一方、貸出金は、前連結会計年度末比5,734億円増加し、3兆2兆9,067億円となり、また、有価証券は、同3兆5,377億円増加し、1兆4,665億円となりました。

総資産は、前連結会計年度末比3兆3,540億円増加し、5兆8,496億円となりました。

3. 純資産

純資産額は、外貨建取引等会計処理基準の改訂により、為替換算調整勘定 209億円を新たに資本の部に計上したことから、前連結会計年度末比3兆7億円減少して2兆1,758億円となりました。

4. キャッシュ・フロー

当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から2,607億円減少し、1兆1,473億円となりました。「営業活動によるキャッシュ・フロー」は+3兆2,184億円、「投資活動によるキャッシュ・フロー」は 3兆601億円となりました。

5. セグメント

所在地別の内部取引消去前の総資産シェアは、日本が88(前連結会計年度末比+1)%, 米州が4(同 0)%, 欧州、アジア・オセアニアは、各々2(同+0)%, 6(同 1)%, 経常収益シェアは、日本が76(前連結会計年度比6)%, 米州が14(同+7)%, 欧州、アジア・オセアニアは、各々3(同 2)%, 7(同+1)%となりました。

6. 自己資本比率(国際統一基準)(速報値)

連結自己資本比率が11.31%、単体自己資本比率が11.91%となりました。